

## はじめに

このたびは、デジタル指示調節計[ACS2](以下、本器)をお買い上げ頂きまして、まことにありがとうございました。この取扱説明書(以下、本書)は、本器の設置方法、機能、操作方法および取扱いについて簡単に説明したものです。本書をよくお読み頂き、十分理解されてからご使用くださいますようお願い致します。また、誤った取扱いなどによる事故防止の為、本書は最終的に本器をお使いになる方のお手元に、確実に届けられるようお取り計らいください。

詳細な使用方法については ACS2 取扱説明書（詳細版）をご参照ください。

取扱説明書（詳細版）は、下記 URL または QR コードより弊社 Web サイトにアクセスしダウンロードしてください。

[https://shinko-technos.co.jp/manual\\_download/#A](https://shinko-technos.co.jp/manual_download/#A)



## ご注意

- ・本器は、記載された仕様範囲内で使用してください。仕様範囲外で使用した場合、火災または本器の故障の原因になります。
- ・本書に記載されている警告事項、注意事項を必ず守ってください。これらの警告事項、注意事項を守らなかった場合、重大な傷害や事故につながる恐れがあります。
- ・本書の記載内容は、将来予告なしに変更することがあります。
- ・本書の内容に関しては万全を期していますが、万一ご不審な点や誤り等お気づきのことがありましたら、お手数ですが弊社営業所までご連絡ください。
- ・本器は、パネル面に取り付けて使用することを前提に製作しています。使用者が電源端子等の高電圧部に近づかないような処置を最終製品側で行ってください。
- ・本書の記載内容の一部または全部を無断で転載、複製することは禁止されています。
- ・本器を運用した結果の影響による損害、弊社において予測不可能な本器の欠陥による損害、その他すべての間接的損害について、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。

## 安全上のご注意(ご使用前に必ずお読みください。)

安全上のご注意では、安全注意事項のランクを“警告、注意”として区分しています。

なお、△ 注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性がありますので、記載している事柄は必ず守ってください。

**警告** 取扱いを誤った場合、危険な状況が起こりえて、人命や重大な傷害にかかわる事故の起こる可能性が想定される場合。

**注意** 取扱いを誤った場合、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合および機器損傷の発生が想定される場合。

### 警告

- ・感電および火災防止の為、弊社のサービスマン以外は本器内部に触れないでください。
- ・感電、火災事故および機器故障防止の為、部品の交換は弊社のサービスマン以外は行わないでください。

### 安全に関するご注意

- ・正しく安全にお使いいただくため、ご使用前には必ず本書をよくお読みください。
- ・本器は、産業機械・工作機械・計測機器に使用される事を意図しています。代理店または弊社に使用目的をご提示の上、正しい使い方をご確認ください。(人命にかかわる医療機器等には、ご使用にならないでください。)
- ・本器の故障や異常でシステムの重大な事故を引き起こす場合には、事故防止のため、外部に過昇温防止装置などの適切な保護装置を設置してください。また、定期的なメンテナンスを弊社に依頼(有償)してください。
- ・本書に記載のない条件・環境下では使用しないでください。本書に記載のない条件・環境下で使用された場合、物的・人的損害が発生しても、弊社はその責任を負いかねますのでご了承ください。

# ⚠ 輸出貿易管理令に関するご注意

大量破壊兵器(軍事用途・軍事設備等)で使用される事がないよう、最終用途や最終客先を調査してください。尚、再販売についても不正に輸出されないよう、十分に注意してください。

## ご注意

### 1. 取付け上の注意

#### ⚠ 注意

[本器は、次の環境仕様で使用されることを意図しています。(EN61010-1)]

- ・ 過電圧カテゴリ II, 汚染度 2

[本器は、下記のような場所でご使用ください。]

- ・ 塵埃が少なく、腐蝕性ガスのないところ。
- ・ 可燃性、爆発性ガスのないところ。
- ・ 機械的振動や衝撃の少ないところ。
- ・ 直射日光があたりず、周囲温度が-10~55℃で急激な温度変化および氷結の可能性がないところ。
- ・ 湿度が35~85%RHで、結露の可能性がないところ。
- ・ 大容量の電磁開閉器や、大電流の流れている電線から離れているところ。
- ・ 水、油および薬品またはそれらの蒸気が直接あたる恐れのないところ。
- ・ 制御盤に設置する場合、制御盤の周囲温度ではなく、本器の周囲温度が55℃を超えないようにしてください。本器の電子部品(特に電解コンデンサ)の寿命を縮める恐れがあります。

※本器のケース材質は、難燃性樹脂を使用していますが、燃えやすいもののそばには設置しないでください。また、燃えやすい物の上に直接置くことはしないでください。

### 2. 配線上の注意

#### ⚠ 注意

- ・ 配線作業を行う場合、電線屑を本器の通風窓へ落とし込まないでください。火災、故障、誤動作の原因となります。
- ・ 本器の端子に配線作業を行う場合、M3ねじに適合する絶縁スリーブ付圧着端子を使用してください。
- ・ 本器の端子台は、左側から配線する構造になっています。リード線は、必ず左側方向から本器の端子へ挿入し、端子ねじで締付けてください。
- ・ 端子ねじを締め付ける場合、適正締め付けトルク以内で締め付けてください。適正締め付けトルク以上で締め付けると、端子ねじの破損およびケースの変形が生じる恐れがあります。
- ・ 配線作業時や配線後、端子部を基点としてリード線を引っ張ったり曲げたりしないでください。動作不良などの原因となる可能性があります。
- ・ 端子カバーを使用する場合、端子番号7~12への配線は端子カバー内の穴を通して行ってください。
- ・ 本器は電源スイッチ、遮断器およびヒューズを内蔵していません。必ず本器の近くに電源スイッチ、遮断器およびヒューズを別途設けてください。(推奨ヒューズ: 定格電圧250V AC, 定格電流: 2Aのタイムラグヒューズ)
- ・ 電源が24V DCまたは48V DCの場合、極性を間違わないようにしてください。
- ・ 入力端子に接続されるセンサに、商用電源が接触または印加されないようにしてください。
- ・ 熱電対、補償導線は、本器のセンサ入力仕様に合ったものをご使用ください。
- ・ 測温抵抗体は、3導線式のもので本器のセンサ入力仕様に合ったものをご使用ください。
- ・ 直流電圧入力 0~5V DC, 1~5V DC, 0~10V DC の+側は、0~1V DC の+側と入力端子が異なりますので注意してください。0~5V DC, 1~5V DC, 0~10V DC の+側は⑨、0~1V DC の+側は⑩です。
- ・ リレー接点出力形については、内蔵リレー接点保護のため外部に負荷の容量に合ったリレーのご使用をおすすめします。
- ・ 入力線(熱電対、測温抵抗体等)と電源線、負荷線は離して配線してください。

### 3. 運転, 保守時の注意

#### ⚠ 注意

- ・ ATの実行は, 試運転時に行うことをおすすめします。
- ・ 感電防止および機器故障防止の為, 通電中には端子に触れないでください。
- ・ 端子の増締めおよび清掃等の作業を行う時は, 本器の電源を切った状態で行ってください。  
電源を入れた状態で作業を行うと, 感電の為, 人命や重大な傷害にかかわる事故の起こる可能性があります。
- ・ 本器の汚れは, 柔らかい布類で乾拭きしてください。  
(シンナ類を使用した場合, 本器の変形, 変色の恐れがあります)
- ・ 表示部は傷つきやすいので, 硬い物で擦ったり, 叩いたり等はしないでください。

## 1. 形名

ACS2 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>				シリーズ名: ACS2 (W48×H48×D68 mm)		
制御出力	R (*5)				リレー接点: 1a	
	M (*1)				無接点電圧(SSR 駆動用): 12V DC 15%	
					直流電流: 4~20mA DC	
					直流電流: 0~20mA DC	
	V				直流電圧: 0~1V	
	1				直流電圧: 0~5V	
	2				直流電圧: 1~5V	
	3				直流電圧: 0~10V	
C				オープンコレクタ		
電源電圧		0			100~240V AC, 24V DC, 48V DC	
入 力			M		マルチレンジ	
オプション①			0		オプション無し	
			1		イベント出力 EV2 (*1)	EV2
			2		イベント出力 EV3 (*2)	EV3
			3		加熱冷却制御 O2(SSR/A) (*4)	O2(SSR/A)
			4		絶縁電源出力 (*6)	P24
オプション②			0		オプション無し	
			1		シリアル通信 + ヒータ断線警報(20A)	C5W(20A)
			2		シリアル通信 + ヒータ断線警報(100A)	C5W(100A)
			3		ヒータ断線(20A) (*3)	W(20A)
			4		ヒータ断線(100A) (*3)	W(100A)
			5		伝送出力(4-20mA) (*3)	TA
			6		伝送出力(0-1V) (*3)	TV
			7		伝送出力(0-10V) (*3)	TV
			8		外部設定入力 (*3)	EA
			9		シリアル通信 (*3)	C5
			A		イベント入力 4点	EI

(\*1): イベント 2 割付選択で OUT1 を選択すると, 出力マルチとなり, SSR 出力, 電流出力またはリレー出力を選択することができます。

(\*2): イベント出力 3 点はコモン共通です。

(\*3): C5W,EI 以外のオプションはイベント入力 2 点が同時付加されます。

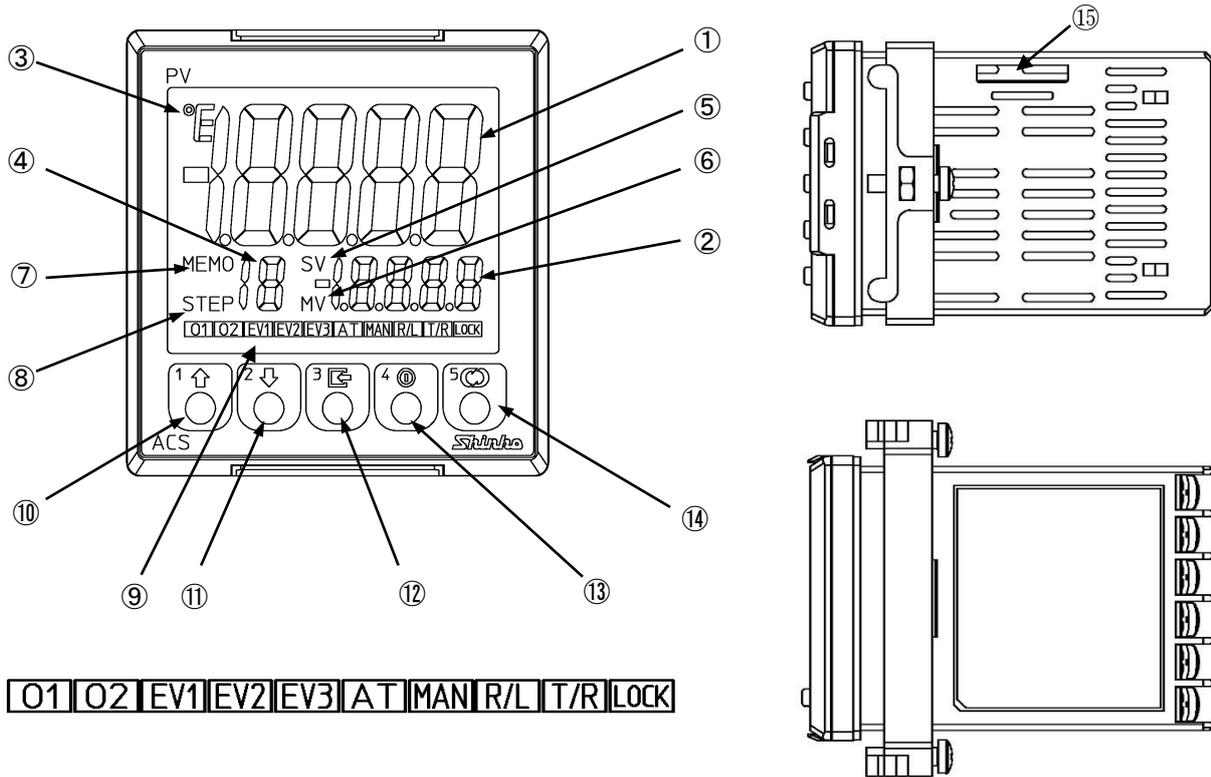
(\*4): O2 を付加すると, 冷却側の出力は SSR 出力または電流出力の選択が可能になります。ただし, リレー出力の冷却出力は不可となります。

冷却出力をリレー出力で使用したい場合, EV2 を付加しイベント 2 割付選択で OUT2 を選択することで使用できます。

(\*5): 加熱冷却制御で加熱側をリレー出力で使用したい場合, 制御出力 R を選択します。

(\*6): リレー出力で絶縁電源出力を使用したい場合, 制御出力 R を選択します。

## 2. 各部の名称とはたらき



(図 2-1)

### 表示器

記号	名称	はたらき
①	PV 表示器	PV を表示します。 設定モード時、設定キャラクタを表示します。
②	SV 表示器	SV を表示します。 設定モード時、設定値を表示します。 モニタモード時、MV または残時間(プログラム制御)を表示します。
③	温度単位表示器	温度単位を表示します。(熱電対, 測温抵抗体レンジのみ表示)
④	MEMO/STEP 表示器	設定値メモリ番号(定値制御)またはプログラム実行ステップを表示します。

### 動作表示灯

記号	名称	はたらき
⑤	SV 表示灯	SV 表示器に設定値を表示している時に点灯します。
⑥	MV 表示灯	SV 表示器に MV を表示している時に点灯します。
⑦	MEMO 表示灯	定値制御選択時に設定値メモリ機能が有効時に点灯します。
⑧	STEP 表示灯	プログラム制御選択時に点灯します。
⑨	O1	制御出力 ON 時または加熱出力(オプション: EV2, O2(SSR/A)) ON 時点灯します。 直流電流, 直流電圧出力の場合, 250ms 周期で MV に対応して点滅します。
	O2	冷却出力(オプション: EV2, O2(SSR/A)) ON 時点灯します。 直流電流, 直流電圧出力の場合, 250ms 周期で MV に対応して点滅します。
	EV1	イベント出力 1 が ON 時点灯します。
	EV2	イベント出力 2 (オプション: EV2) が ON 時点灯します。
	EV3	イベント出力 3 (オプション: EV3) が ON 時点灯します。
	AT	ノーマル AT, 立ち上げ AT または Fast AT 実行中点滅します。
	MAN	手動制御時、点灯します。
	R/L	外部設定入力のリモート選択時、点灯します。
	T/R	シリアル通信(オプション: C5W, C5) TX(送信)出力時、点灯します。
	LOCK	設定値ロックモード設定時に点灯します。

キー

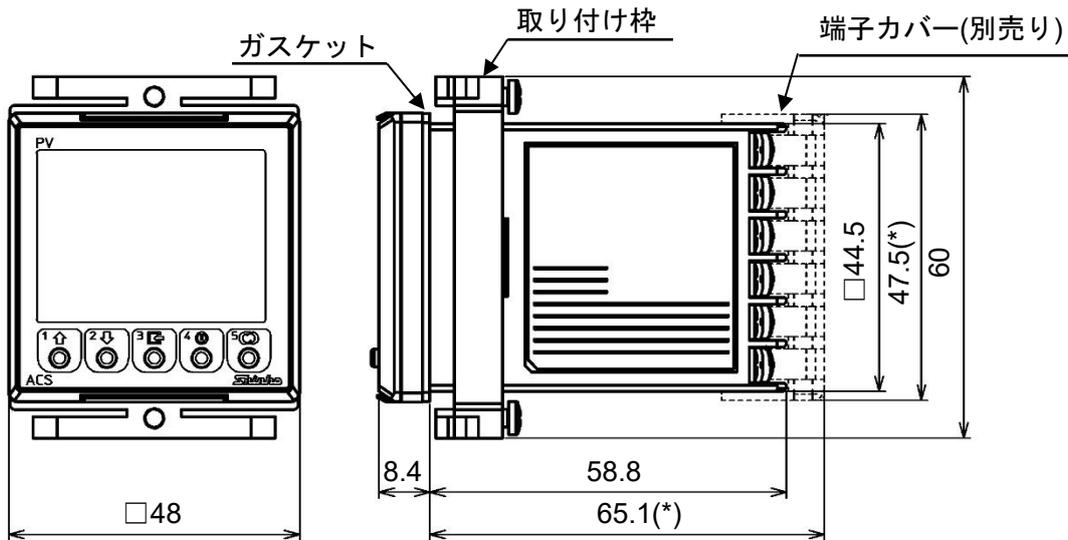
記号	名称	はたらき
⑩	アップキー	設定値の数値が増加します。 プログラム制御実行中、1秒間押すとアドバンス機能が働きます。
⑪	ダウンキー	設定値の数値が減少します。 プログラム制御実行中、1秒間押すとホールド機能が働きます。
⑫	PF キー	PF キー機能選択で選択した操作を行う。設定モード時、数値入力桁選択を行います。
⑬	OUT/OFF キー	OUT/OFF キー機能選択で選択した操作を行います。
⑭	モードキー	設定モードの切り替えおよび設定値の登録を行います。運転モード中、3秒間押し続けるとモニタモードに移行します。

コンソール用コネクタ

記号	名称	はたらき
⑮	コンソール用コネクタ	別売りのツールケーブル(CMD-001)を接続するコネクタです。 コンソールソフト(SWC-ACS201M)を使用して外部コンピュータよりSV, PID各種設定値の読み取りおよび設定, PV, 動作状態の読み取り, 機能変更を行います。

### 3. 制御盤への取付け

#### 3.1 外形寸法図(単位: mm)

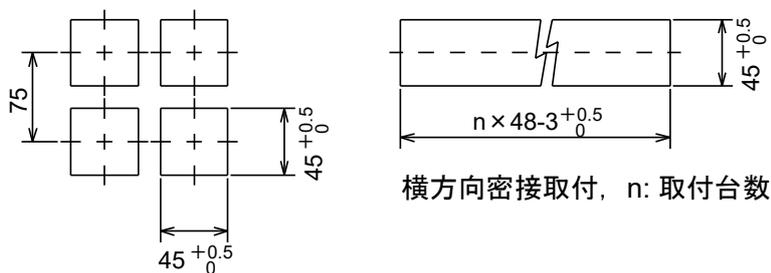


(\*): 端子カバー取り付け時の寸法です。

(図 3.1-1)

#### 3.2 パネルカット図(単位: mm)

**⚠ 注意**  
横方向密接取付の場合、防塵防滴 IP66 仕様を満たしません。



(図 3.2-1)

### 3.3 本器の取り付け、取り外し

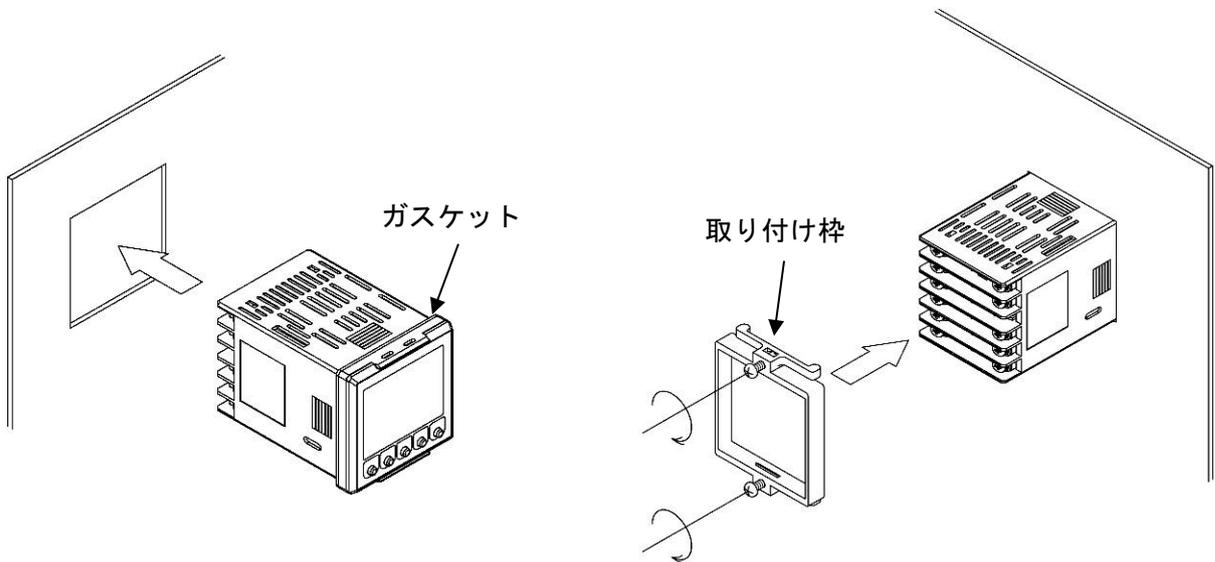
#### 警告

本器を取り付ける場合、取り付け枠のねじを必要以上に締め過ぎると、変形するおそれがあります。ねじの先端がパネルに当たってから、1回転ねじを回して固定してください。締め付けトルクは、0.05~0.06 N・mを指定してください。

#### 3.3.1 本器の取り付け

防塵防滴 IP66 仕様を満たすため、本器は凹凸のない剛性を持った平面に取り付けてください。横方向密接取付の場合、防塵防滴 IP66 仕様を満たしません。取り付け可能なパネルの厚さ: 1~5 mm

- (1) 本器を制御盤のパネル前面から挿入してください。(図 3.3.1-1)  
防塵防滴 IP66 仕様が必要な場合、ガスケットは不要です。
- (2) 取り付け枠の先端がパネルに当たるまで挿入し、ねじで締め付けてください。(図 3.3.1-2)  
ねじの締め付けは、ねじの先端がパネルに当たってから、1回転ねじを回して固定してください。締め付けトルクは、0.05~0.06 N・mを指定してください。

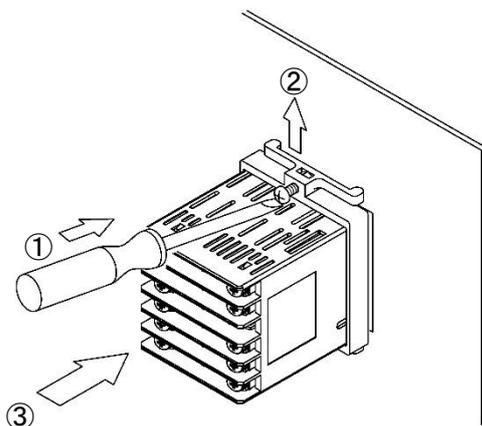


(図 3.3.1-1)

(図 3.3.1-2)

#### 3.3.2 本器の取り外し

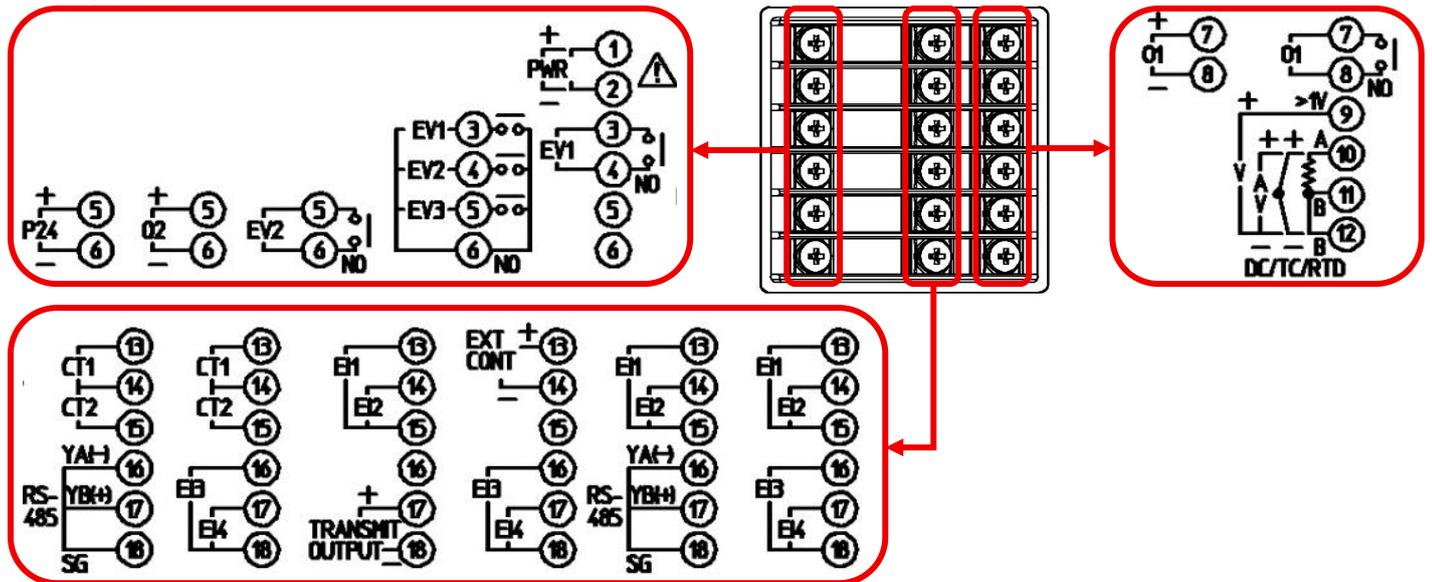
- (1) 本器の供給電源を切り、配線を全て外してください。
- (2) マイナスドライバーの平たい部分を、取り付け枠(ねじ部分)と本器の間に挿し込んでください(①)。
- (3) 取り付け枠を本器より浮かしながら(②)、本器を端子側から前面に押ししてください(③)。
- (4) (2)、(3)を取り付け枠(ねじ部分)上下交互に行い、少しずつ前面に押し出してください。



(図 3.3.2-1)

# 4. 配線

## 4.1 端子配列



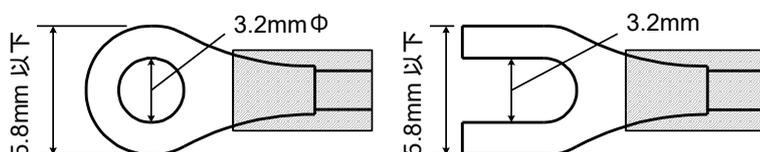
(図 4.1-1)

端子記号	説明
PWR	電源電圧
EV1	イベント出力 1
EV2	イベント出力 2 (オプション: EV2)
EV3	イベント出力 3 (オプション: EV3)
O2	制御出力 OUT2(冷却出力) (オプション: EV2, O2(SSR/A))
P24	24 V DC 絶縁電圧 (オプション: P24)
O1	制御出力 OUT1 または加熱出力 (オプション: EV2, O2(SSR/A))
TC	熱電対入力
RTD	測温抵抗体入力
DC	直流電流または直流電圧入力
CT1	CT 入力 1 (オプション: C5W, W)
CT2	CT 入力 2 (オプション: C5W, W)
RS-485	シリアル通信 RS-485 (オプション: C5W, C5)
EVENT INPUT	EI1 (オプション:C5W 以外) EI2 (オプション:C5W 以外) EI3 (オプション:EI, W または C5W 以外) EI4 (オプション:EI, W または C5W 以外)
EXT CONT	外部設定入力 (オプション: EA)
TRANSMIT OUTPUT	伝送出力 (オプション: TA, TV)

## 4.2 リード線圧着端子について

下記のような、M3 のねじに適合する絶縁スリーブ付圧着端子を使用してください。  
締付トルクは 0.63 N・m を指定してください。

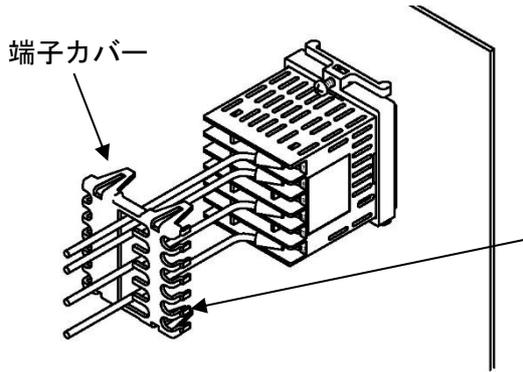
圧着端子	メーカ	形名	締付トルク
Y 形	ニチフ端子	TMEX1.25Y-3	0.63 N・m
	日本圧着端子	VD1.25-B3A	
丸形	ニチフ端子	TMEX1.25-3	
	日本圧着端子	V1.25-3	



(図 4.2-1)

### 4.3 端子カバー使用時の注意

端子カバーの長い方が、ケースの右側になるよう取り付けてください。  
端子番号 7~12 への配線は、端子カバー内の穴を通して行ってください。

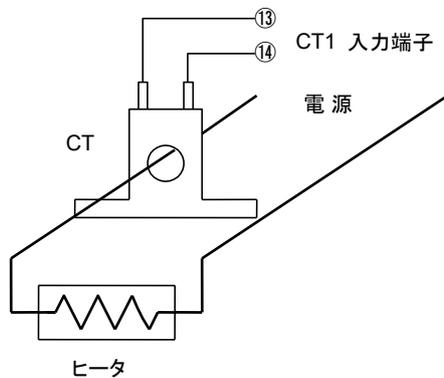


端子カバーの長い方が、ケースの右側になるよう取り付けてください。

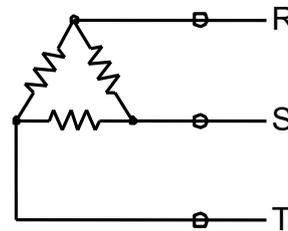
(図 4.3-1)

### 4.4 ヒータ断線警報出力(オプション: C5W, W)の配線について

CTは付属のものを使用し、ヒータ回路の導線 1 本を CT の穴へ通してください。(図 4.4-1)  
外部からの干渉を避けるため、CT の導線と電源線、負荷線は離して配線してください。  
三相の場合、R, S, T の内いずれかの 2 線に CT を挿入し、CT1(13-14), CT2(14-15)端子へ接続してください。(図 4.4-2)



(図 4.4-1)



R, S, T の内いずれかの 2 線に CT を挿入してください。

(図 4.4-2)

## 5.仕様

### 電源

電源	24 V DC, 48 V DC, 100~240 V AC 許容電圧変動範囲 24 V DC: 24 V ±10 % 48 V DC: 48 V ±10 % 100~240 V AC: 85~264 V AC
消費電力	24 V DC 約 7 W 以下 48 V DC 約 7 W 以下 100~240 V AC 約 15 VA 以下

### 出力

制御出力	リレー接点 1a	制御容量 3 A 250 V AC(抵抗負荷) 1 A 250 V AC(誘導負荷 cosφ=0.4) 電氣的寿命 10 万回 最小適用負荷 10 mA 5 V DC
	無接点電圧 (SSR 駆動用)	12 V DC ± 15 % 最大 40 mA DC(短絡保護回路付き)
	直流電流	4~20 mA DC, 0~20 mA DC 分解能 12000 負荷抵抗 550 Ω 以下
	直流電圧	0~1 V DC, 0~5 V DC, 1~5 V DC, 0~10 V DC 分解能 12000 許容負荷抵抗 1 kΩ 以上

	オープンコレクタ(NPN)	許容負荷電流 負荷電圧	100 mA 以下 30 V DC 以下
イベント出力		出力点数 リレー接点 制御容量 電氣的寿命 最小適用負荷	1点, 2点(オプション:EV2), 3点(オプション:EV3) 1a 3 A 250 V AC(抵抗負荷) 1 A 250 V AC(誘導負荷 $\cos\phi=0.4$ ) 10 万回 10 mA 5 V DC

## 性能

基準精度	周囲温度 23℃(パネル面個別取り付けにおいて)		
熱電対入力	各入力スパンの $\pm 0.2\% \pm 1$ デジット以内 ただし、0℃(32°F)未満は、各入力スパンの $\pm 0.4\%$ 以内 R, S 入力の 0~200℃(32~392°F)は、 $\pm 6\%$ (12°F)以内 B 入力の 0~300℃(32~572°F)は、精度保証範囲外		
測温抵抗体入力	各入力スパンの $\pm 0.1\% \pm 1$ デジット以内		
直流電流, 直流電圧入力	各入力スパンの $\pm 0.2\% \pm 1$ デジット以内		
直流電流, 直流電圧出力	各入力スパンの $\pm 0.3\% \pm 1$ デジット以内		
入力サンプリング周期	10 ms(直流電流, 直流電圧入力のみ有効), 50 ms, 125 ms		

## 一般構造

質量	約 120 g		
外形寸法	48×48×68(首下 60) mm(W×H×D 突起部を除く)		
取付方式	制御盤埋込方式(適合パネル厚み: 1~5 mm)		
ケース	難燃性樹脂 黒		
パネル	ポリカーボネートシート		
防滴・防塵構造	前面部 IP66		
適用規格	LVD	EN61010-1(汚染度 2, 過電圧カテゴリ II)	
	EMC	EMI: EN61326-1 CISPR11 Group1 ClassA EMS: EN61326-1	

## 環境条件

周囲温度	-10~55℃(ただし、結露または氷結しないこと)
周囲湿度	35~85%RH(ただし、結露しないこと)
環境仕様	RoHS 指令対応
耐腐食性	腐食性ガスのないこと

## その他

付属品	取り付け枠 1 個 取扱説明書(簡易版) 1 部
-----	-----------------------------

◆ご不明な点がございましたら、弊社営業所までお問い合わせください。

# Shinko 神港テクノス株式会社

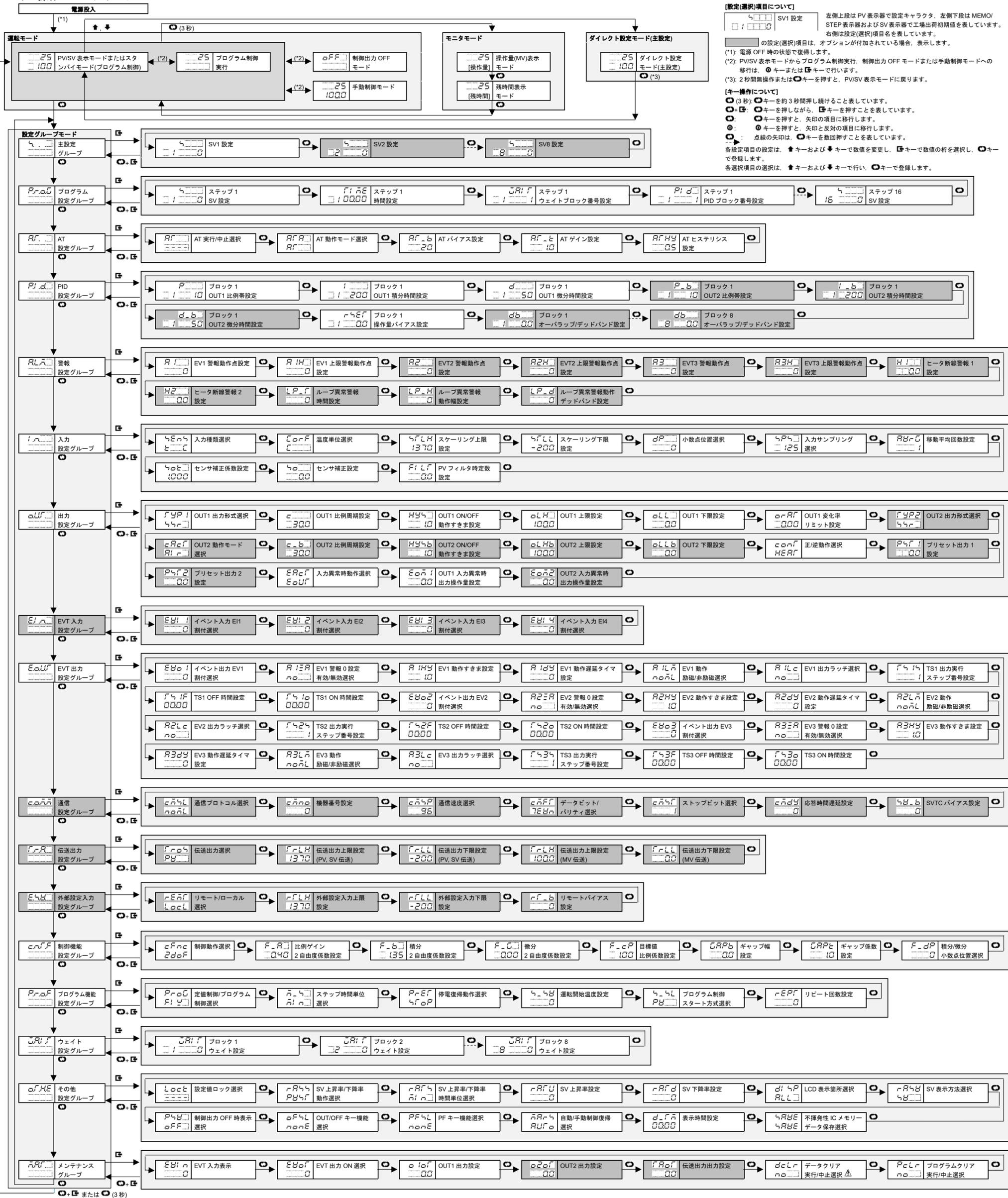
本社 〒562-0035 大阪府箕面市船場東 2 丁目 5 番 1 号 東京営業所 〒171-0021 東京都豊島区西池袋 1-11-1  
 TEL: (072)727-4571 FAX: (072)727-2993 METROPOLITAN PLAZAビル 14 階  
 [URL] <https://shinko-technos.co.jp/> TEL: (03)5117-2021 FAX: (052)957-2562

大阪営業所 〒562-0035 大阪府箕面市船場東 2 丁目 5 番 1 号 名古屋営業所 〒461-0017 愛知県名古屋市中区東外堀町 3 番  
 TEL: (072)727-3991 FAX: (072)727-2991 CS 東外堀ビル 402 号室  
 [E-mail] [sales@shinko-technos.co.jp](mailto:sales@shinko-technos.co.jp) TEL: (052)957-2561 FAX: (052)957-2562

福岡 TEL: (0942)77-0403 FAX: (0942)77-3446

技術的なご質問はカスタマセンター TEL: (072)727-3491 までお問い合わせください。

## 6. キー操作フローチャート



**【設定(選択)項目について】**

左側上段はPV表示器で設定キャラクタ、左側下段はMEMO/STEP表示器およびSV表示器で工場出荷初期値を表しています。右側は設定(選択)項目名を表しています。

○ の設定(選択)項目は、オプションが付加されている場合、表示します。

(1): 電源 OFF 時の状態を復帰します。

(2): PV/SV 表示モードからプログラム制御実行、制御出力 OFF モードまたは手動制御モードへの移行は、**○** キーまたは **□** キーで行います。

(3): 2秒間無操作または **○** キーを押すと、PV/SV 表示モードに戻ります。

**【キー操作について】**

(3秒): **○** キーを約3秒間押し続けることを表しています。

**○** **□**: **○** キーを押しながら、**□** キーを押すことを表しています。

**○**: **○** キーを押すと、矢印の項目に移行します。

**○**: **○** キーを押すと、矢印と反対の項目に移行します。

**○**: 点線の矢印は、**○** キーを複数回押すことを表しています。

各設定項目の設定は、**▲** キーおよび **▼** キーで数値を変更し、**□** キーで数値の桁を選択し、**○** キーで登録します。

各選択項目の選択は、**▲** キーおよび **▼** キーで行い、**○** キーで登録します。

AT 実行/中止選択	PF 10	P1100 -200~850 °C	10000	第4位	2	制御動作 ON/OFF 切替	5	上下限範囲警報	REB4	非励磁	ストップビット選択	5	1ビット	5	分	LS0	下段(動作表示灯を含む)	EVT 入力表示		
AT 中止	PF 10	P1100 -100.0~100.0 °C	10000	入力サンプリング選択	3	正逆動作切替	3	正逆動作切替	5	上下限範囲警報個別	EVT1/EVT2/EVT3 出力ラッチ選択	1	1ビット	5	分	5E0	SV 表示方法選択	U	入力無し	
AT 実行	4201	4~20 mA DC (受信抵抗内蔵)	125	125 ms	4	プリセット出力機能 1	7	絶対値上限警報	no	無効	2	2ビット	4	停止	4B	設定された目標値	1	E11 ON		
AT 動作モード選択	2201	-19999~19999	50	50 ms	4	ON/OFF 切替	8	絶対値下限警報	4E4	有効	伝送出力選択	4	停止	4F0P	停電復帰後停止	4	4B	ラン機能で変動中の目標値	2	E12 ON
ノーマル AT	0201	0~20 mA DC (受信抵抗内蔵)	10	10 ms	5	プリセット出力機能 2	9	待機付上限警報	no	無効	待機付出力選択	4	停止	conP	停電復帰後継続	4	4B	ラン機能で変動中の目標値	4	E13 ON
立ち上げ AT	19999~19999	-19999~19999	OUT1/OUT2 出力形式選択	10	ON/OFF 切替	10	待機付下限警報	no	無効	待機付出力選択	4	停止	Hal0	停電復帰後一時停止	4	4B	ラン機能で変動中の目標値	8	E14 ON	
Fast AT	420E	4~20 mA DC (受信抵抗外付付)	420R	420R	6	自動/手動制御切替	11	待機付上下限警報	11	待機付上下限警報	11	待機付上下限警報	95	9600 bps	2	2自由度 PID 制御	no	無表示	4	EVT 出力 ON 選択
入力種類選択	4	0~20 mA DC (受信抵抗外付付)	420R	420R	7	リモート/ローカル切替	12	待機付上下限警報個別	12	待機付上下限警報個別	12	待機付上下限警報個別	95	9600 bps	2	2自由度 PID 制御	no	無表示	4	EVT 出力 ON 選択
K -200~1370 °C	020E	0~20 mA DC (受信抵抗外付付)	020R	020R	8	プログラム制御モード	13	待機付上下限警報	13	待機付上下限警報	13	待機付上下限警報	95	9600 bps	2	2自由度 PID 制御	no	無表示	4	EVT 出力 ON 選択
K -200.0~800.0 °C	020E	0~20 mA DC (受信抵抗外付付)	020R	020R	8	RUN/STOP 切替	14	待機付上下限警報	14	待機付上下限警報	14	待機付上下限警報	95	9600 bps	2	2自由度 PID 制御	no	無表示	4	EVT 出力 ON 選択
K -200.0~400.0 °C	020E	0~1 V DC -19999~19999	01	01	9	プログラム制御モード	15	待機付上下限警報	15	待機付上下限警報	15	待機付上下限警報	95	9600 bps	2	2自由度 PID 制御	no	無表示	4	EVT 出力 ON 選択
J -200~1000 °C	05B	0~5 V DC -19999~19999	05	05	10	HOLD/解除切替	16	待機付上下限警報	16	待機付上下限警報	16	待機付上下限警報	95	9600 bps	2	2自由度 PID 制御	no	無表示	4	EVT 出力 ON 選択
J -200.0~400.0 °C	05B	1~5 V DC -19999~19999	05R	05R	10	プログラム制御モード	17	待機付上下限警報	17	待機付上下限警報	17	待機付上下限警報	95	9600 bps	2	2自由度 PID 制御	no	無表示	4	EVT 出力 ON 選択
R 0~1760 °C	010R	0~10 V DC -19999~19999	010	010	10	ADVANCE 機能	18	待機付上下限警報	18	待機付上下限警報	18	待機付上下限警報	95	9600 bps	2	2自由度 PID 制御	no	無表示	4	EVT 出力 ON 選択
S 0~1760 °C	010R	0~10 V DC -19999~19999	010	010	10	逆動作選択	19	待機付上下限警報	19	待機付上下限警報	19	待機付上下限警報	95	9600 bps	2	2自由度 PID 制御	no	無表示	4	EVT 出力 ON 選択
B 0~1820 °C	010R	0~10 V DC -19999~19999	010	010	10	逆動作選択	19	待機付上下限警報	19	待機付上下限警報	19	待機付上下限警報	95	9600 bps	2	2自由度 PID 制御	no	無表示	4	EVT 出力 ON 選択
E -200~800 °C	010R	0~10 V DC -19999~19999	010	010	10	逆動作選択	19	待機付上下限警報	19	待機付上下限警報	19	待機付上下限警報	95	9600 bps	2	2自由度 PID 制御	no	無表示	4	EVT 出力 ON 選択
T -200.0~400.0 °C	010R	0~10 V DC -19999~19999	010	010	10	逆動作選択	19	待機付上下限警報	19	待機付上下限警報	19	待機付上下限警報	95	9600 bps	2	2自由度 PID 制御	no	無表示	4	EVT 出力 ON 選択
N -200~1300 °C	010R	0~10 V DC -19999~19999	010	010	10	逆動作選択	19	待機付上下限警報	19	待機付上下限警報	19	待機付上下限警報	95	9600 bps	2	2自由度 PID 制御	no	無表示	4	EVT 出力 ON 選択
PL II 0~1390 °C	010R	0~10 V DC -19999~19999	010	010	10	逆動作選択	19	待機付上下限警報	19	待機付上下限警報	19	待機付上下限警報	95	9600 bps	2	2自由度 PID 制御	no	無表示	4	EVT 出力 ON 選択
Q(WR65-26) 0~2315 °C	010R	0~10 V DC -19999~19999	010	010	10	逆動作選択	19	待機付上下限警報	19	待機付上下限警報	19	待機付上下限警報	95	9600 bps	2	2自由度 PID 制御	no	無表示	4	EVT 出力 ON 選択
P1100 -200.0~850.0 °C	010R	0~10 V DC -19999~19999	010	010	10	逆動作選択	19	待機付上下限警報	19	待機付上下限警報	19	待機付上下限警報	95	9600 bps	2	2自由度 PID 制御	no	無表示	4	EVT 出力 ON 選択

▲ データクリアを実行する場合  
 入出力の配線を外してから行  
 ってください。配線したまま  
 データクリアを行うと故障の  
 恐れがあります。